

テキスト・参考書

(購入方法などの詳細は本検定ホームページをご覧ください)

テキスト・参考書を活用して、①過去問題集を解いて出題傾向をつかむ。②過去問題集の解説やテキスト、高等学校農業用教科書で問題を確認する。③自分の苦手な領域を重点に②の確認を行う。④類似した出題もあるので過去問題集を何度も学習する—などの勉強方法も効果的です。

2025年版
日本農業技術検定
過去問題集
(2級・3級)
好評販売中!

3級

- (1) 2025年版過去問題集3級 (発行)全国農業会議所
*2022年度、2023年度、2024年度試験問題6回分を収録
- (2) 日本農業技術検定3級テキスト (発行)全国農業高等学校長協会
- (3) 文部科学省検定教科書 高等学校農業用 (発行)教科書出版会社

2級

- (1) 2025年版過去問題集2級 (発行)全国農業会議所
*2024年度試験問題2回分を収録
- (2) 日本農業技術検定2級テキスト(改訂新版)注 (発行)全国農業会議所
- (3) 文部科学省検定教科書 高等学校農業用 (発行)教科書出版会社

1級

- (1) 1級学科試験問題…日本農業技術検定協会(全国農業会議所)
*2022、2023、2024年度試験問題、年度ごとに実費販売
- (2) 日本農業技術検定1級参考図書…農業関係出版社

※1級試験問題は過去問題の出版物はありません。ホームページをご覧くださいの上、本検定協会事務局宛にメールにてご連絡ください。実費でコピーして送付いたします。

※テキスト・参考書については、それぞれの発行元にお問い合わせください。 全国農業高等学校長協会 TEL.03-5357-1666
注)2級テキスト(改訂新版)は2分冊(I 農業一般・作物・野菜、II 農業一般・花き・果樹・畜産・食品)で、発行は全国農業会議所です。

大学での団体受験の取り組み紹介

玉川大学農学部では、毎年度、学生に団体受験の希望を募り、2級を中心に本検定の受験機会を設けています。過去の試験問題を備え、受験対策講座を開いて学生を支援する研究室もありますが、日頃の農業や食品加工に関する講義や実習科目を通じた学生の主体的な勉学によって、キャリアアップのために取得する資格の一つとして本検定が活用されています。昨年度は2級に56人が受験して優秀団体に選ばれました。

龍谷大学農学部農学科では、キャリア構築のための講義を開き、2級受験料の助成制度を設けて過去問題集やテキストによる勉学支援を行い、学生による本検定の受験活用を推奨しています。農業系公務員に就職した卒業生からは「農業の専門試験では受験勉強した知識が役立った」と2級資格取得のメリットを話す声も聞かれます。昨年度は2級に76人が受験して高い合格率が評価され、3年連続で優秀団体として表彰されました。

佐賀大学農学部では、食と農に関する基礎技術の習得と定着を目的として、実習やインターンシップを重視した「食農基礎技術マスタリー特別教育プログラム」を実施して、このプログラムの修了要件に本検定の2級以上の合格を定めています。昨年度は農学部同窓会に受験料をサポートしてもらい、2級に16人、1級にも3人が合格して優れた成績をあげています。

日本大学生物資源科学部では、1～3年生が履修する農場での実習の中で本検定の資格取得に取り組んでいます。1年生が3級、2～3年生は2級合格を目標にしています。試験問題の内容を実習に取り入れて、農場で実物をみながら作業を体験することで農業の理解が深まり、学生の取り組みも真剣になり、こうした教育手法が評価されて、全国大学附属農場協議会の全国大学農場教育賞も受賞しました。昨年度は約170人が受験に取り組み、2級の優秀団体にも選ばれています。

私たちも応援しています! — 日本農業技術検定への協賛企業・団体



お問い合わせ

日本農業技術検定協会 (事務局：一般社団法人 全国農業会議所)
〒102-0084 東京都千代田区二番町9-8 中央労働基準協会ビル2階
TEL: 03-6910-1126 FAX: 03-3265-5140 e-mail: kentei@nca.or.jp

日本農業技術検定協会 構成団体 (一社)全国農業協同組合中央会、全国町村会、全国農業高等学校長協会、全国農業大学校協議会、全国農学系学部長会議、全国大学附属農場協議会、(公社)日本農業法人協会、(一社)全国農業改良普及支援協会、(公財)農民教育協会、(公社)国際農業者交流協会、(一社)日本農業機械化協会、(一社)全国農協観光協会、(一社)農山漁村文化協会、(一社)全国農業会議所【事務局】



2025年度農林水産省・文部科学省後援

日本農業技術検定

試験日

第1回

7/5_土

第2回

12/6_土

応募期間

第1回

4月25日_金～ 5月30日_金

第2回

9月29日_月～10月30日_木

受験級

第1回

3級

2級

第2回

3級

2級

1級

専門知識を修めた証に 農業の検定資格を取ろう!

社会人に向けて農業知識のキャリアアップを図ろう!



日本農業技術検定は、わが国の農業現場への新規就農のほか、農業法人や関連企業等への就業をめざす学生や社会人などを対象に、教育研修の効果を高めることを目的とした農業専門の全国統一の試験制度です。

大学で学んだ農業に関する実践的知識の修得水準を客観的に測定しますので、就職に向けたキャリアアップに役立ちます。勉学の成果を検定にいかしましょう(国の普及指導員資格試験は、大学卒業後4年の実務経験が受験資格のため、現役大学生では受験できません。一般的に就職時には各種資格取得がある方が有利です)。

実施主体

日本農業技術検定協会 (事務局：一般社団法人 全国農業会議所)
<https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/>





日本農業技術検定 概要

第1回

2025年7月5日(土)

3級 10:00～10:40 (40分)

2級 11:10～12:10 (60分)

応募期間

第1回 4月25日(金)～ 5月30日(金)

第2回 9月29日(月)～10月30日(木)

試験会場

一般受験は東京・大阪等各地の指定会場

団体受験は試験実施団体の準備・提供した会場

【2024年度優秀表彰団体】※農業高等学校の部を除く

〔大学の部〕2級最優秀団体：茨城大学農学部、2級優秀団体：玉川大学農学部、日本大学生物資源科学部、龍谷大学農学部、鳥取大学農学部、佐賀大学農学部

〔大学等の部〕2級最優秀団体：新潟県農業大学校、2級優秀団体：群馬県立農林大学校、アグリイノベーション大学校関東校、アグリイノベーション大学校関西校、兵庫県立農業大学校、鳥取県立農業大学校、広島県立農業技術大学校、佐賀県農業大学校、鹿児島県立農業大学校

〔JAの部〕2級最優秀団体：JAとなみ野、2級優秀団体：JA香川県、3級最優秀団体：JA大分県、3級優秀団体：JAみなみ信州、JA和歌山中央会、JA福岡市

●拓殖大学北海道短期大学、秋田県立大学、茨城大学、高崎健康福祉大学、玉川大学、東京農業大学(神奈川、北海道)、日本大学、静岡県立農林環境専門職大学、名城大学、新潟食料農業大学、信州大学、龍谷大学、京都先端科学大学、摂南大学、鳥取大学、県立広島大学、佐賀大学、東海大学(熊本)、大分短期大学、南九州大学、宮崎大学、琉球大学、では大学生の団体受験を進めています。多くの大学では学生がもともと農業経験もないため、大学での農学習得の補強手段として活用されているほか、日本大学生物資源科学部では農場実習の中で本検定受験に取り組んでいます。

●JA新はこだて、JA東京中央、JAマインズ、JAかながわ西湘、JA梨北、JAぎふ、JAふじ伊豆、JAあいち豊田、JAこうか、JAとなみ野、JA長野中央会、JA上伊那、JAあづみ、JA信州うえだ、JA信州諏訪、JA佐久浅間、JAみなみ信州、JA松本ハイランド、JA大阪泉州、JA大阪南、JA丹波ひかみ、JA兵庫六甲、JA和歌山中央会、JA香川県、JA福岡中央会、JA粕屋、JA福岡市、JA糸島、JAふくおか八女、JA柳川、JAくるめ、JA長崎せいひ、JAくま、JAおおいた、JAあいら、JAおきなわ、では営農指導力の向上や一般職員のキャリアアップを目的に団体受験を実施しています。

県連グループとして、営農指導員上級資格の要件の一つとして、一般職員は全員3級資格を取得する取り組みを進めるところもあります。

●本検定の上位資格は、一定の農業に関する実務的知識を習得していることの証明になります。

試験方法

〔3級〕 学科試験のみ

〔2級〕 学科試験+実技試験

〔1級〕 学科試験+実技試験

※1級、2級も学科試験のみの受験が可能です。学科に合格した場合は、「学科試験合格証明書」を発行します。なお、1級・2級実技試験は免除措置があります。詳しくは本検定ホームページをご覧ください。

3級 試験科目	農作業の意味がわかる入門レベル	■ 農業基礎として共通30問 ■ 「栽培系」「畜産系」「食品系」「環境系」から1科目選択で20問。ただし、「環境系」は、環境共通10問と3分野(造園、農業土木、林業)の各10問から1分野選択 ■ 四者択一のマークシート方式による計50問
	主な受験対象：農業高校生	
2級 試験科目	農作物の栽培管理等が可能な基本レベル	■ 農業一般として共通10問 ■ 「作物」「野菜」「花き」「果樹」「畜産」「食品」から1科目選択で40問 ■ 五者択一のマークシート方式による計50問
	主な受験対象：JA営農指導員・大学生	
1級 試験科目	農業の高度な知識・技術を修得している実践レベル	■ 農業一般として共通20問 ■ 「作物」「野菜」「花き」「果樹」「畜産」「食品」から1科目選択で40問 ■ 五者択一のマークシート方式による計60問
	主な受験対象：JA営農指導員・大学生	

日本農業技術検定の受験実績

①全体受験実績(2019～2024年度)

(受験者数
合格率)

	3級	2級	1級	合計
2019年度	19,992人(59%)	5,311人(23%)	266人(7%)	25,569人(51%)
2020年度	18,790人(66%)	3,015人(21%)	206人(7%)	22,011人(59%)
2021年度	20,939人(66%)	5,908人(23%)	265人(5%)	27,112人(56%)
2022年度	17,932人(63%)	5,024人(21%)	243人(13%)	23,199人(54%)
2023年度	17,573人(66%)	4,447人(23%)	261人(10%)	22,281人(57%)
2024年度	17,984人(65%)	4,580人(23%)	278人(12%)	22,842人(56%)

②科目別合格率(2024年度)

3級	2級	1級
栽培系	作物	作物
畜産系	野菜	野菜
食品系	花き	花き
環境系	果樹	果樹
	畜産	畜産
	食品	食品
計	計	計

③合格基準

〔3級〕 100点満点の原則60%以上

〔2級〕 100点満点の原則70%以上

〔1級〕 120点満点の原則70%以上

実技試験

(2級、1級試験では学科のみの受験も可能です。学科試験合格者には学科試験合格証明書が交付されます。実技試験までご希望の方は以下をご参照ください)

①2級実技試験免除

2級実技試験(ほ場での農業機械についての実地検定)の希望者は11月に受験の機会があります。農業系の学校(農業高校、農業大学校、大学等)での所定の農業機械等の農場実習、農業経験(JAの営農指導経験を含む)1年以上、2級実技試験免除規定に指定する農業用機械・食品加工の2機種(工程)以上の講習を修了していれば免除が可能となります。

学校での2級団体受験の場合は、学校(団体)としての2級実技免除手続きをお薦めします(5年間有効)。具体的な手続きは本検定ホームページをご覧ください。

※農業機械の実習証明に必要な講習会については、本検定ホームページをご参照ください。

②1級実技試験免除

1級実技試験(12月の1級学科試験と同日時に実施)は1級学科試験合格者の希望により受験が可能です。農業系の学校等での農場実習等4単位取得者又は2年以上の営農実務経験を有する方は免除が可能となります。詳細は本検定ホームページをご覧ください。

申込方法

お申し込みは
ホームページから ▶ <https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/>

①一般受験

個人がインターネットで申し込む場合は、申込方法の「一般受験」画面から申し込む。

雇用就農資金支援対象の雇用就農者は、都道府県農業会議が受験者を取りまとめてインターネットで申し込む。

※受験料の振込先口座番号は受験者(団体)別になっており、毎回変わります。所定の振込口座へ、応募期間内に受験料をお振込みください。

②団体受験

学校・JA・農業法人など要件(受験者5名以上、試験会場を提供、試験官1名以上担当など)を満たす実施団体がインターネットで申し込む場合は、申込方法の「団体受験」画面から申し込む。